

つつじが丘便り



文責 野上泰宏

No. 4

第62回全国新聞教育研究大会・十勝帯広大会

帯広市立つつじが丘小学校長 野上 泰宏

この新聞教育の全国大会は、十勝帯広で4回目の開催になります。初めて帯広で開催されたのは、平成7年。今から20年以上前になります。当時私は、新得中学校で教員をしていたのですが、事務局の先生から電話があり、「全国大会を開催するにあたり、十勝管内全市町村から研究会員がほしい。先生は、生徒会新聞委員会の担当だから、名前だけでも貸してもらえないか。」と言われ、「名前だけなら」と返事をしました。大会は、帯広市立花園小学校を会場に行われました。本州からも涼しい北海道を期待して多数集まり、参加者は500人を数えました。しかし、その日に限って帯広の気温は、30℃超え。汗だくになり大会運営をしたことを覚えています。二回目は、それから10年後の平成17年に帯広市立柏小学校を会場に開催されました。この時は、足寄の芽登小学校という複式校に勤務、小規模校ならではの全校児童による新聞づくりの授業を公開しました。平成24年の三回目は、とかちプラザを会場に開催。この時は、西陵中学校に勤務をしていたのですが、研究部に所属し、基調提案の制作にあたりました。そして、今回。会場は、とかちプラザ。本校の伊東洋志教諭が6年生児童と公開授業に臨みます。「実社会と結びついた教育、正しく情報を読み取り自ら発信する教育を進める上で、新聞教育は有効である。」と認められる反面、新聞読者は減少しているのが現実です。このギャップをどう捉え、インターネットやSNSで情報をやり取りするこの時代にどうあるべきなのか、公開授業や提言を通して考える全国規模の研究大会となります。

「何を理解し、何ができるか。」これが新しい教育の道筋にある「知識・技能」です。今求められている教育では、情報を知識に変え、そして、行動変容にまでつなげていかなければなりません。新聞記事は、まさに情報です。情報をいかに知識化して自分事として考えられるかが、この大会の一丁目一番地です。

思えば、学校は常に情報を発信しています。ややもすると、授業も一方的な情報発信になりかねません。「人間の体にはカルシウムが必要です」と教えますが、「ボクはひざが痛いから、カルシウムを取らなきゃ」と言う小学生はいません。「手洗い、うがいが大切」と言っても、「自分は病気にかからない」という根拠のない自信から、行動に至りません。しかし、正しく伝え、理解させることにより、子どもたちは今何をすべきか考え行動することができます。その証拠に、算数の勉強で「1平方メートルの壁を塗るのに、4分の3リットルのペンキが必要です」という問題が出たからと、ホームセンターに4分の3リットルのペンキを買いに行く子どもはいないので。

私は、この研究会を通して「時代の変化」をまざまざと感じています。情報教育という共通点から視聴覚教材を例にすると、平成の最初の頃は、まだNHK教育テレビの番組を道德の授業など、リアルタイムに見ることがありました。それがビデオになり、DVDになりました。LL教室が視聴覚室になり、パソコン室に変わりました。新聞紙面も、レイアウトや伝える記事内容も、時代とともに大きく変わっています。「歴史から学ぶ」ではありませんが、社会の変化と教育の変化の関連を考える上で、大いに役立っています。

ぼーっと先生の話聞き、周りの子がやり始めたのを見て「たぶんこうだろうな」と問題を解き、先生の「わかりましたか？」に、とりあえず「はい」と元気よく手を挙げた、昭和の小学生。「テストに出る」から、ひたすら「大事なこと」を覚えました。そうすることで、「いい子」であるかのような評価をされました。令和の時代から見ると、昭和は二世前。昭和から見ると、二世前は明治。明治の教育方法をながめていたように、昭和の教育をながめる時代がくるかもしれません。



7月25日から夏休みになります。規則正しく安全に過ごすために、「夏休みのきまり」を配布しましたので、今一度ご確認いただき、楽しい夏休みをお過ごし下さい。また今年度も8月13日から15日の3日間を学校閉鎖日と設定しましたので、ご承知おきください。

つつじ小ピックアップ

(6月～7月)

6月17日(月)、児童会活動の時間に、環境・保健委員会で校舎前花壇の草取りを行っていました。子供の人数が少なくなり、学校の授業時数に余裕がなくなると、学級単位で行っていた環境整備など手がまわらなくなってしまう。こういう活動を通してわかること、いわゆる教育的価値があるのですが・・・。



6月17日、18日に「自転車安全教室」を行いました。春先に、「小学生の自転車の乗り方が危ない」という地域の方からのご指摘もあり、みんな真剣に取り組みました。中には、自転車用のヘルメットを持参した子供もいました。北海道では、昨年(平成30年)の4月1日に「北海道自転車条例」が施行され、「学校・保護者は自転車交通安全教育に努める」ことや「ヘルメット着用、損害賠償保険加入に努める」ことが定められました。「努力義務」で罰則があるわけではありませんが、重大事故の防止という観点から、あらためて考えてみてはいかがでしょうか。



7月5日に4年生が「水道講座」の出前授業を受けました。説明のほかに顕微鏡をのぞいたりして、どのように水質が保たれているのかを学習しました。こういう知識が、教科書の勉強や体験学習につながり、学ぶことに興味関心が強まればいいな、と感じました。



今年度も帯広ろう学校との交流学习を進めます。7月9日に、4年生と一緒に習字の授業を行いました。一学期中に、7月5日に5年生、11日にすこやか学級、12日に3年生とが交流合同授業を行いました。

ノーマライゼーションが進む中、差別や偏見のない共生社会の実現に向けた教育を、実践を通して進めていきたいと考えています。



参観日6/15、17、18日。

たくさんの来校、ありがとうございました。



修学旅行に行ってきました・7月3日、4日



今年も札幌に、修学旅行に行ってきました。曇り空で、天候が心配だったのですが、かえって暑くもなく寒くもなく、行動するには最適となりました。

おかげで体調を崩す人も少なく、全日程を予定通り実施することができました。集団生活・集団行動を通して、子どもたちはまた一回り大きく成長した気がしています。その力を、つつじが丘小学校のリーダー学年として発揮し、素晴らしい学校にしてほしいと思います。



今年も、二中学生に励まされ～ 体力テストを実施しました

6月25日に、全校児童体力テストを実施しました。昨年から手伝ってくれている帯広第二中学校の3年生に今年も来校いただき、子どもたちの支援をしてくださいました。中学生の応援を受け、みんな頑張りました。



コミュニティ・スクールに向け、ご理解を。

CS（コミュニティ・スクール）について、「結局、何をすればいいんだ」「今までと何が違うんだ」と感じている方もいることと思います。

社会は常に変化していて、これからも変化し続けます。しかも、今までよりもっと速いスピードで、より高度に複雑に変化します。そこで、子どもたちに未来社会を生き抜く力をつける。さらに、現在行っている良き取組（ボランティア、見守りなど）は持続させる。新たな負担や拙速な変化をすることなく、子どもの夢や理想の実現のため、この制度の活用を私は考えています。また、CSの理念や考え、先進地域の取組例を今後紹介していきますので、ご理解を深めていただければありがたいです。

8月のつつじが丘小 行事予定



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	木		17	土	
2	金	スインピア（午前）	18	日	
3	土		19	月	
4	日		20	火	職員会議
5	月	スインピア（午後）	21	水	二学期始業式 劇団四季 P運営委員会 つつじっ子
6	火		22	木	給食費（高）
7	水		23	金	クラブ バス学習3年 給食費（中） PTA社会部会
8	木	スインピア（午前）	24	土	わくわくサタデー
9	金		25	日	
10	土		26	月	バス学習5年 給食費（低）つつじっ子
11	日	山の日	27	火	給食費（予）
12	月	振替休日	28	水	バス学習1年 トレジャ参観週間～30日 つつじっ子
13	火	学校閉庁日	29	木	
14	水	学校閉庁日	30	金	児童会 給食費（引）
15	木	学校閉庁日	31	土	つつじ祭り前日準備
16	金				

